

# 令和5年度 印旛地区教育研究集会

## 生活科部会資料

### 研究主題

ICT を活用し、探究的学習を目指す生活科のあり方



### 第4部会

提案：八街市立笹引小学校

池田 啓子

天田 俊樹



## 1 研究主題

### ICT を活用し、探究的学習を目指す生活科のあり方

## 2 主題設定の理由

### (1) 学習指導要領から

小学校学習指導要領 第2章 第5節 生活第3の2 (4)  
学習活動を行うに当たっては、コンピュータなどの情報機器について、その特質を踏まえ、児童の発達の段階や特性及び生活科の特質などに応じて適切に活用すること。

#### ア 情報機器 (ICT) の特質を踏まえる

- ・静止画や動画の情報を活用して、見付けたり・比べたりといつでも繰り返し、学習を振り返ることができる。
- ・児童一人一人の保存した情報で、児童同士の対話を促すことができる。

#### イ 児童の発達の段階や特性

- ・自分との関わり (人・社会・自然) において、低学年児童は直接関わる活動や体験を意欲的に行う特性がある。

#### ウ 生活科の特質

- ・身近な人々、社会や自然等に直接関わる活動や体験を重視して、児童の思いや願いを活かした活動ができる。
- ・活動や体験を重ねることで、社会や自然について気付くことができる。さらには、自分自身や生活についても気付くことができる。

### (2) 本校の研究実践から

本校は、3年間の八街市教育委員会研究指定「ICT (Information and Communication Technology) 活用における学力向上」を受けて研究に取り組んできた。ICT 機器を生活科・総合的な学習の時間等で活用することにより、問題意識の共有や表現力の向上に効果的であると考えた。

また、ICT 機器の活用によって得た写真や動画から新たな気付きの発見があり、主体的・対話的な深い学びの実現に向けても効果的であると考えた。

### (3) 児童の実態から

本校の児童数は、87名。全学年単学級 (6クラス) と特別支援学級 (3クラス) の小規模校である。クラス替えがなく交友関係を築きやすい反面、切磋琢磨する気持ちをもちにくいところがある。地域性として、市街地から遠距離にあるため、地域のスポーツ団体に通う児童は多い反面、学習塾に通う児童は少ない。また、ルールや自分の役割の仕事など、決められたことや言われたことは素直に取り組む姿勢が見られる。しかし、自分で考えてより良いと思うことを進んで行う児童は少ない。さらに、コロナ禍で地域との関りも少なくなっている。受動的な態度が多くみられる実態を踏まえ、地域人材を活用し、インタビューをするなど能動的に活動することで、意欲的に学習する児童に育つと考えた。

### 3 研究仮説

#### (1) 仮説 1

地域人材を活用し、交流の場における体験・活動を工夫すれば、探究的学習の意欲が高まっていくだろう。

地域人材を積極的に活用し、地域にある工場や施設を見学（直接体験）することによって、地域で働いている人の思いや願い、仕事の内容などを知ることができる。

また、地域で働いている人の思いを児童に伝える機会を設けることができるようになれば、気付きの質が高まり探究的学習の意欲の喚起になると考える。

#### 《仮説 1》手立て

##### ア 地域人材の活用

- ・子どもと地域の思いや願いを繋げ、体験活動をする

##### イ 交流の場の工夫

- ・直接交流の場を設ける
- ・体験学習を継続的に行う

#### (2) 仮説 2

ICT 機器を効果的に活用して、学習のまとめ方や伝え方を工夫すれば、探究的学習が深まっていくだろう。

クロームブック（児童用 PC）にあるスライドやジャムボードなどの ICT アプリを活用し、体験して気付いたことや自分の考えをまとめていく。気付きなどの表現は、ICT 機器を活用することによって、内容の変更や修正が容易にできるようになる。

また、直接体験ができなかった児童は、見学施設のインタビュー動画を見ることによって追体験ができる。

#### 《仮説 2》手立て

##### ア 表現活動の工夫

- ・スライドやジャムボード（ICT アプリ）などの活用
- ・GoogleMap の活用
- ・絵地図の利用

##### イ 学習過程における ICT 活用






- ・見通しをもたせ、興味・関心を高める場面
- ・自分の考えを形成する場面
- ・考えたことを表現・共有する場面
- ・協働学習の場面
- ・学習内容の蓄積、振り返りの場面

## 第2学年生活科

### ICT機器を活用した笹引小「まちたんけん」の学習過程

#### 《ICT機器活用のポイント》

◎子供たちが学習への興味・関心を高め、自ら記録した情報をもとに伝え合い活動後の振り返りにより、探究的活動のよさに気づくことができる。

<p>一斉学習</p>	<p>笹引小学区・通学路の地図を手掛かりとして子供一人一人が探検したい場所等を考え、興味・関心を喚起し、探検活動への<u>思いや願いをもつ</u>。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○探検したい場所を地図に表す</li> <li>○探検隊の歌、バッジの作成</li> <li>○探検隊7つ道具の確認</li> </ul>	
<p>個別学習</p>	<p>クラス全員で3方向の通学路を探検する。探検中に発見したことや地域で働く人々へのインタビュー等で気付いたことはクロームブック（児童用PC）に子供たち一人一人が書き込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○探検する際、一人一台のクロームブック（児童用PC）をもたせ、写真にとる。</li> <li>○探検する場所については、事前に打ち合わせをして理解を深める。</li> </ul> <p><u>活動・体験をする場面</u></p>	 
<p>協働学習</p>	<p>3つのグループに分かれ探検する。その後ICT機器を活用して、グループで話し合ったことをジャムボード（ICTアプリ）に写真や付箋で表す。ICT支援員にも画像処理等を教えてもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○協働での意見の整理</li> <li>○グループ・学級全体での発表では、探検で記録した情報を効果的に活用する。</li> </ul> <p><u>表現・感じる・考える場面</u></p>	 

## 1 単元名 わたしの町 はっけん① (6月)

## 2 単元について

## (1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領、生活科の内容を受けて構成した。

(1) 学校生活に関わる活動を通して、学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達、通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考えることができ、学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かり、楽しく安心して遊びや生活をしたり、安全な登下校をしたりしようとする。

(2) 地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。

本単元では、通学路をきっかけとし、学校の近くを探検する。その中で町の様々な場所や、そこで生活している人々に関心をもたせる。春から初夏に変わるこの時期に、生き生きとしている草花や昆虫の様子に気付かせる。そして、冬の頃と比べてどのように変化してきたのかを考えさせていきたい。

また、通学路には自分たちの安全を守っている人々がいることに気づき、安全に生活しようとする気持ちを育てていきたい。地域の方々に親しみや愛着がもてるよう繰り返し関わり、挨拶の仕方や言葉遣いを身に付けたり、公共施設を利用する際のルールやマナーを守ることができるようにしていきたい。探検して発見したことやインタビューしたことなどを絵や写真で表し、気付いたことを文にし、発表させる。

最後に、この単元で気付いたことから「更にもっと調べてみたいこと」を明確にする。この単元は、秋の「わたしの町はっけん②」につながる。

## (2) 児童の実態

令和4年6月2日調査 (男子10人、女子6人)

## 《生活科に関するアンケート》

調査問題	調査結果 (人)			
1 生活科の学習の時間は好きですか。	好き	どちらかといえば好き	どちらかといえば好きでない	好きではない
	12	2	1	1
2 どんな学習が好きですか。(複数回答)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表すること (5)</li> <li>・友達の考えを聞くこと (4)</li> <li>・植物を育てたり観察したりすること (11)</li> <li>・動物や虫を育てたり観察したりすること (8)</li> <li>・分からないことを本でしらべること (4)</li> <li>・インタビューすること (4)</li> </ul>			
3 振り返りではどんなことを書いていますか。(複数回答)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かったことを書く (11)</li> <li>・分からなかったことや不思議に思ったことを書く。(5)</li> <li>・次に勉強したいこと (やってみたいこと) を書く。(4)</li> </ul>			
4 通学路は何コースですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東コース (7)・西コース (6)・南コース (3)</li> </ul>			
5 通学路にはどんな建物がありますか。(複数回答)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家 (11)・コンビニエンス (1)</li> </ul>			

6 通学路にはどんな人がいましたか。 (複数回答)	・犬を散歩する人(4) ・見守り隊の人(4) ・畑で働く人(2) ・先生(2) ・近所の人(1) ・散歩をする人(1)
7 通学路ではどんな草花を見ましたか。 (複数回答)	・タンポポ(5) ・スマイレ(2)・ 白い花(1) ・タケノコ(1) ・ニンジン(1)
8 通学路にはどんな生き物がいましたか。 (複数回答)	・モンシロチョウ(4) ・ダンゴムシ(4) ・アリ(4) ・テントウムシ(3) ・カラス(3) ・スズメ(3) ・イヌ(3) ・ネコ(1) ・ハチ(1) ・モンキチョウ(1)・ゾウムシ(1)・ジョロウグモ(1)
9 通学路ではどんな標識・看板がありましたか。 (複数回答)	・止まれ(6)・信号機(2)・バス停(2)・横断歩道(1) ・道路上にある「通学路」の字(1)・工事中(1) ・ゴミ捨て場(1)
10 通学路で調べたいことは何ですか。 (複数回答)	・建物(11)・草花や作物(6)・生き物(4)人(2)

《クロームブックに関するアンケート》

調査問題	調査結果(人)			
	好き	どちらかといえ ば好き	どちらかといえ ば好きでない	好きでは ない
1 クロームブックを使った学習は好きですか。	9	6	0	1
2 どんな学習が好きですか。 (複数回答)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表すること(11)</li> <li>・友達の考えを聞くこと(8)</li> <li>・自分が知りたいことを見つけること(7)</li> <li>・インターネットで調べること(10)</li> <li>・友達と協力して学習すること(8)</li> </ul>			
3 あなたがクロームブックでできることはどんなことですか。 (複数回答)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真が撮れる(15)</li> <li>・写真に説明を加えられる(12)</li> <li>・音声入力ができる(14)</li> <li>・ローマ字入力ができる(0)</li> <li>・スライド(0)</li> <li>・10本の指を使ってローマ字入力ができる(タイピング)(0)</li> </ul>			
4 クロームブックの中の機能を使って、考えや求め方を友達に説明できますか。	できる			できない
	4			12
5 考えや求め方を友達に説明(発表)するとき、どのような機能を使えば伝わりやすくなると思いますか。 (自由記述)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャムボード(10)</li> <li>・カメラ(4)</li> </ul>			

### (3) 指導観

以上の実態調査から、生活科の学習の意欲の高さがわかる。また、笹引小学校の回りは畑に囲まれていて、自然が豊かである。そのため、植物や生き物を育てたり観察したりすることが好きな児童が多い。

通学路では、低学年は登下校を地区別に並んで行っているため、途中の様子をゆっくりと見ることができない。そのため、通学路で見られる建物や人や生き物について、あまり知らない児童が多い。そこで、改めて生活科の学習で探検に出かけることで、新たな発見をさせていきたい。

また、通学路では、交通量が多く信号機のない道路を横断する所で、毎日児童の安全を見守って下さる、見守り隊の方々へのインタビューを通して、地域の人々への感謝の気持ちを育てていきたい。活動にあたっては、交通安全に十分注意し、安全に探検していきたい。学習を進めるにあたり、発見したことはICT機器を使って写真に収めてくる。ICT機器については、4月より児童は、クロームブック（児童用PC）のジャムボードに、写真を貼り付けることができるようになってきた。そこで、本単元でもその技術を活用していきたい。

なお、本単元は、2学期の「わたしたちの町 はっけん②」につながる。「わたしたちの町 はっけん①」はクラス全体で探検し、「わたしたちの町 はっけん②」では、興味関心の同じ児童がグループをつくって、コースに分かれて探検する。本単元で学習したことから更に調べてみたいことを見出し、深めていきたい。

### (4) 仮説との関わり

#### <仮説1>

地域人材を活用し、交流の場における体験・活動を工夫すれば、探究的学習の意欲が高まっていくだろう。

#### 《仮説1の手立て》

##### ア 地域人材の活用

- ・地域の人々の思いを知ることができるように、子供たちが地域の事業所を訪問し、インタビューをする。

##### イ 交流の場の工夫

- ・地域にはたくさん事業所があるが、これまでにあまり交流してこなかった。1件ずつ訪問して、見学が可能かを伺い、協力の依頼をし、子供たちが働く人々と交流することができるようにする。

#### <仮説2>

ICT機器を効果的に活用して、学習のまとめ方や伝え方を工夫すれば、探究的学習が深まっていくだろう。

#### 《仮説2の手立て》

##### ア 表現活動の工夫

- ・調べたことや聞いてきたことを友達に伝えるために、クロームブック（児童用PC）のジャムボード（ICTアプリ）に、写真や気付きを分かりやすく表現させる。
- ・クロームブック（児童用PC）のジャムボード（ICTアプリ）に貼り付けられた絵地図に気付いたことを表現させる。

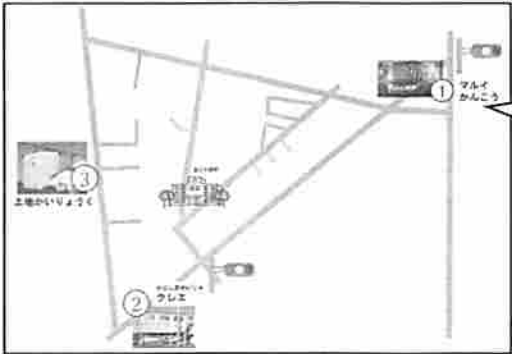
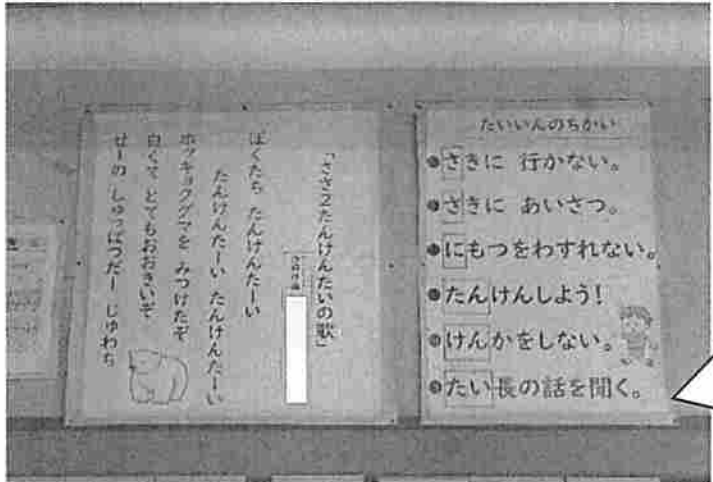

##### イ 学習過程におけるICT活用

- ・自分の考えを形成する場面において、ICT機器を活用させる。発見したことを写真に撮り、そこに気付いたことを文で表現させる。
- ・考えたことを表現・共有する場面において、ICT機器を活用させ、電子黒板に写して見ることで、他の児童の考えや発見したことを共有させる。
- ・毎時間ICT機器を使った振り返りを行い、教科とICTの振り返りを行うことで、次時の学習の内容を明確化する。

### 3 単元の目標

- ・通学路にある草花や昆虫の様子に気付いている。
- ・わたしたちの町には、働いている人や安全を守っている人がたくさんいることに気付いている。  
(知識及び技能の基礎)
- ・探検で発見したことを絵や写真や文で表現している。  
(思考力、判断力、表現力等の基礎)
- ・通学路の様子について様々な人々と関わりながら調べようとしている。  
(学びに向かう力、人間性等)

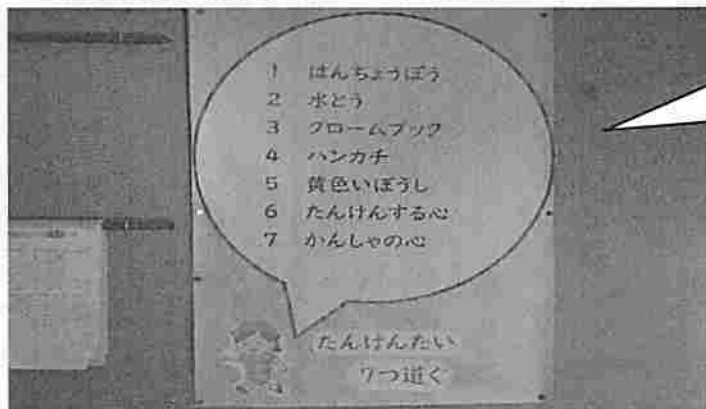
### 4 指導と評価の計画 (10時間扱い)

時配	学習内容と学習活動	評価規準 (評価の観点) 【評価方法】
1	<p>○探検の計画を立てる。</p> <p>「笹引小2年探検隊」の発足式を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・笹引小学区内の地図を元に、探検する道を考える。</li> <li>・探検したいことを確認する。 (建物・人・草花・生き物など)</li> <li>・探検隊の歌とマークを作る。</li> </ul>   	<p>・通学路の様子について様々な人々と関わりながら調べようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>【発言の観察】</p> <p>探検は、通学路の3つの方面全て行うことと決定。</p> <p>クラスで探検隊の歌を募集したところ、素敵な歌ができた。ホッキョクグマも見つかるらしい。すごい探検である。</p> <p>「さき2」とは、笹引小2年生の略。</p>

直径10センチくらいの大きなバッジ。裏に安全ピンがついている。Aさんがデザインし、全部で20個以上作った。探検に行く時、左肩につけて出発する。



- ・探検隊の誓いの言葉をつくる。  
(交通安全、右側を1列で歩く。)
- ・探検隊の7つ道具を確認する。  
(通学帽子、水筒、クロームブック)



「少年探偵団の7つ道具」を手本に、「探検隊7つ道具」を決定。

6 ○通学路の探検に出かける。気付いたことをクロームブックに絵や写真、文で表す。

(東方面)

笹引小よりセブンイレブンまで  
見学…株式会社バス会社

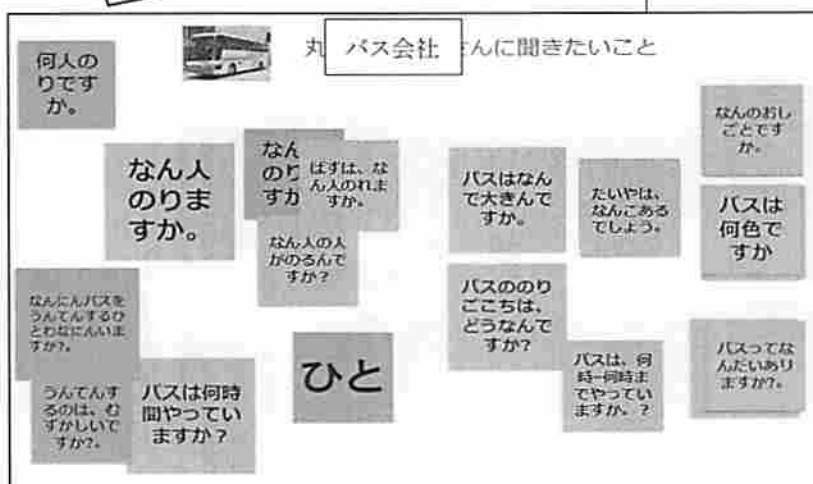
探検前に、質問したいことをジャムボードの1枚のページにクラスみんなで付箋機能を使って書き込んだ。

- ・通学路にある草花や昆虫の様子に気付いている。
- ・わたしたちの町には、働いている人や安全を守っている人がたくさんいることに気付いている。

(知識・技能)

【ジャムボード】

東方面の探検 6月14日



探検の途中には、安全な場所に立ち止まって、写真を撮った。  
<仮説2>



はたけには、サトイモが植えてあるよ。

校外学習には、このバスに乗っていききたいな。



さすがフカフカだよ。バス会社さんってすごいね。働く人は、お客さんの安全を一番に考えているんだね。  
<仮説1>

南方面の探検 6月17日

(南方面)

笹引小より南中まで  
見学…弁当箱工場

探検前に、質問したいことをジャムボードの1枚のページにクラスみんなで付箋機能に書き込んだ。

弁当箱工場 さんに聞きたいこと

自いふく

たのしいしごことですか

まがいはい、どうやってつくられているんですか？

どうしたらそんなふうにできるんですか？

どんなふうしようですか？

どんないろをつけているんですか？

たんボールち、つくって、いるんですか？

どんなしごく 赴く

どうやってつくっているんですか？

人はな人になでやめますか？

一日に何個できますか

なにがてつたうことありますか？

人のるんですか？

どんくらい人が、はたらいているんですか？

はこをつくるのは、むずかしいですか？

僕はどんな感じですか

どんなきかいですか？

機械では手を使ってるんですか

まがいはい、どんなうごきですか？

お弁当の箱の横になるところです。これを折ってつながります。



すごい。紙なのに、木のように。こうやって箱を作るのか。  
<仮説1>

1段目ができると2段目をつくります。



わたしも作ってみたい。大きくなったら、ここで働きたいです。  
 <仮説1>



はたらく様子を、動画に撮ろう。流れ作業になっているよ。  
 <仮説2>

西方面の探検 6月27日

(西方面)

笹引小より総武まで  
 見学…農業用水

探検前に、質問したいことをジャムボードの1枚のページにクラスみんなで付箋機能に書き込んだ。

農業用水      さんに聞きたいこと

- みずは、どこからきてますか。
- どうやって水をためているんですか。
- タンクは何センチですか
- どのくらいの高さですか
- たんくのなかに、さびきにも、くるんですか?
- たんくのなかにはいつている水は、なんぼるですか。
- たんくてためるのなんにちかかりましたか。
- タンクには何Lはいつていますか。
- 一日どこからみずがきますか? うみか、どっちですか?
- たかさ、何メートルですか。
- タンクのたかさはどなんメートルですか。
- 何人いますか

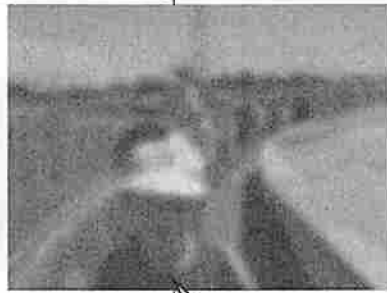
6月27日（月）第3回目の探検に出かけた。

大きなタンクが2つある。何が入っているのかな。



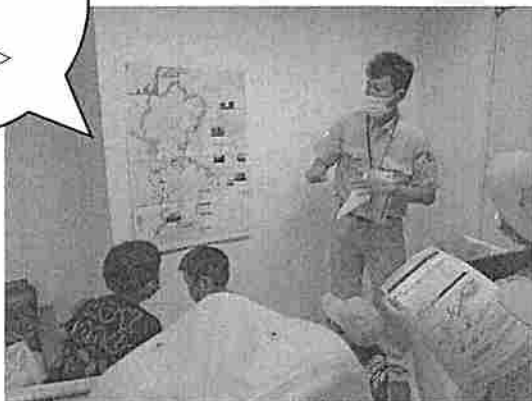
このタンクには、畑に送る水が入っています。

校長先生と一緒に屋上に上った。



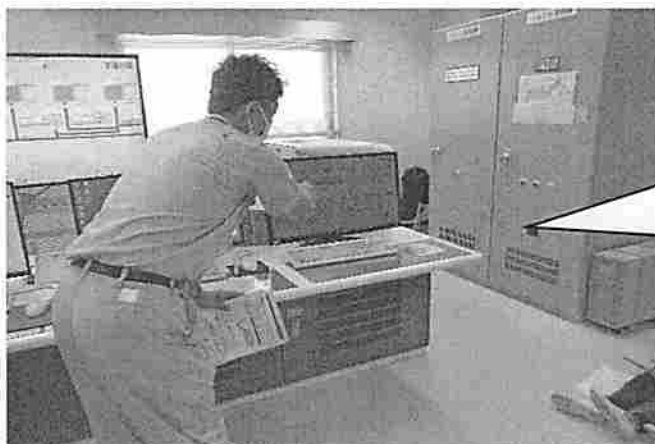
屋上は高くすごいです。周りには畑が多いね。

この水は、利根川からきます。  
<仮説1>



この水はどこから来るのですか。





どこにどのくらいの水が流れているかは、ここで全部わかるんだよ。  
 <仮説1>

ここはポンプ室で、利根川からの水を畑に送っているんだよ。  
 <仮説1>



3 ○一人一人探検したことをクロームブックで確認する。  
 発表に向けての準備をする。  
 ・どこで、何を発見したのか。  
 本時 ○探検で気付いたことを伝え合う。  
 9/10 ・探検で気付いたこと  
 ・さらに調べてみたいこと

・探検で発見したことを絵や写真や文で表現している  
 (思考・判断・表現)  
 【発言】



○単元の振り返りをし、作文に書く。  
 ・探検して分かったことやさらに調べてみたいこと  
 ・「わたしたちの町はっけん②」への意欲

5 本時の指導(9/10)

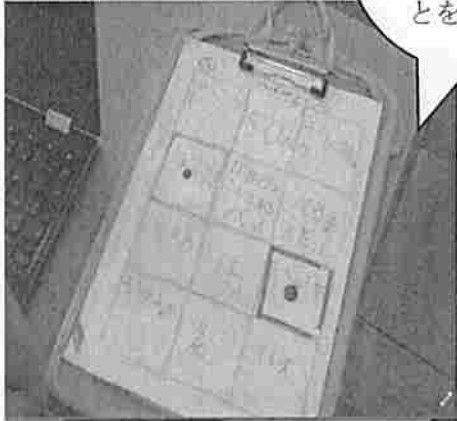
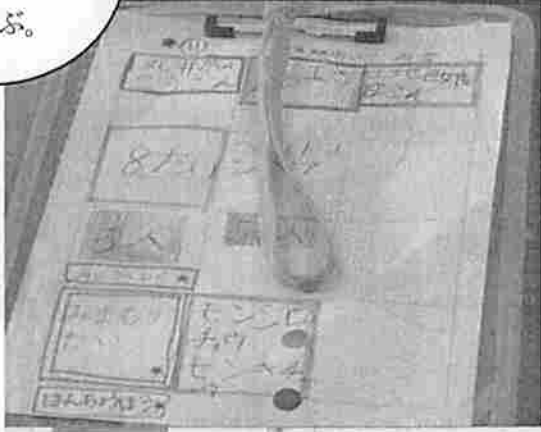
(1) 評価規準

・探検で発見したことを絵や写真や文で表現している。

(思考・判断・表現)

【発言】

(2) 展開

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価	資料
5	<p><b>【見いだす】</b></p> <p>1 本時の学習内容を知り、めあてを確認する。</p> <div data-bbox="385 607 1078 712" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>⑤ たんけんではっけんしたことを、伝え合おう。</p> </div> <p><b>【自分で取り組む】</b></p> <p>2 発表内容の確認と準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの発見の中から、伝えたいものを選ぶ。</li> <li>・草花・生き物</li> <li>・見守り隊や働く人</li> <li>・工場の様子</li> </ul> <div data-bbox="211 1099 663 1518" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  </div> <p><b>【広げ深める】</b></p> <p>2 5 3 発見したものを付箋に書き、地図に貼り、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・方面ごとに気付いたことを発表する。</li> <li>(東方面)  笹引小よりセブンイレブン</li> <li>(西方面)  笹引小より総武方面</li> <li>(南方面)  笹引小より南中方面</li> </ul>	<p>・地図を元に、前時までの学習を想起させる。</p> <p>・探検で発見した建物、人、草花、昆虫などを振り返り、自分の興味関心の高いものを選び表現させる。</p> <div data-bbox="550 931 824 1178" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>探検のメモの中から、伝えたいことを選ぶ。</p> </div> <div data-bbox="699 1088 1235 1518" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  </div> <p>・「発表の仕方」を参考に、全員に聞こえるように発表させる。</p> <p>・「発表の聞き方」を参考に、静かに聞くことができるようにさせる。</p> <p>・発見したものは、クロームブックの付箋に書き、地図に貼り発表させる。付箋は色分けし、内容が分かりやすいようにさせる。</p> <p>・建物・人・草花・虫・標識などが発表された時、同じような物があれば、方面が異なっても関連付ける。</p>	<p>前時までの学習の分かる  掲示物  電子黒板</p> <p>クロームブック</p> <p>「発表の仕方・聞き方」の  掲示物</p>

・地図全体から気付いたことを発表する。

(建物) 家、工場、店 ■

(人) 見守り隊 ■

工場などで働く人

(草花) 草花、作物 ■

(生き物) 虫、鳥など ■

・更に調べてみたいことを発表する。

発表します。バス会社さんで働く人は、「お客さんを安全に運ぶことが一番大切。」と言っていました。大きくなったら、ここで働きたいです。<仮説1>

弁当箱工場さんでは、ベルトコンベアを使って流れ作業で、お弁当箱を作っていました。すごいと思いました。<仮説1>

【まとめあげる】

10 4 本時の振り返りをするとともに、次時の活動について知る。

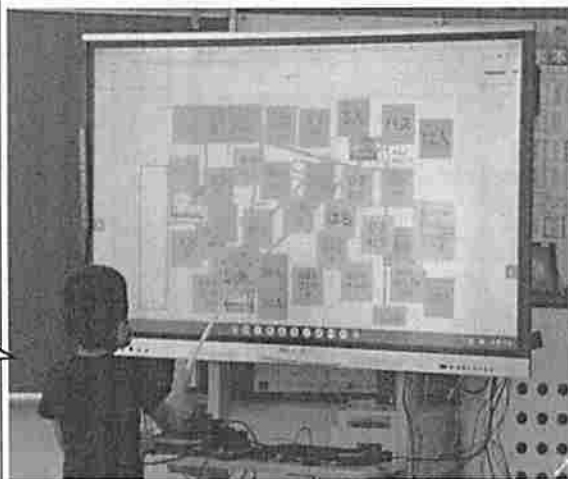
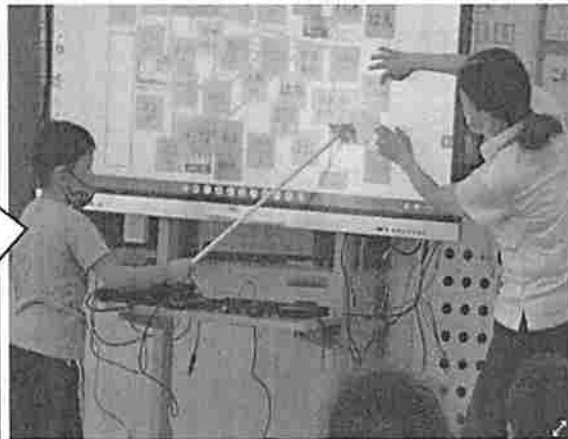
・クロームブックで、生活科とクロームブックの2観点で振り返りをする。



○探検で発見したことを絵や写真や文で表現している。

(思考・判断・表現)

【発言】



・付箋になかなか書くことを決められない児童には、これまでの発見したものを書いたジャムボードを振り返り、一緒に考えながら助言する。

・次の町探検に向けての意欲を高める。

・教科とICTの2観点で振り返りを行うことで、次時の学習の内容を明確化する。

クロームブック

今日の学習の振り返りは、「楽しかった。」  
「たくさん発表した。」  
<仮説2>

◎児童のジャムボード（ICTアプリ） <仮説2>

①バス会社

丸いかんこうさんは、イスが、ふわふわしていてすごかったです。クレエさんは、はごがきれいにしてくれてすごかったです。土地かいりょうくさんは、高い水のたんくがあってすごいいいと思いました。

かんこうさん

さといも

ピーナッツ

6月

土地かいりょうく

②弁当箱工場

2かいに大きいホッチキスがありました。

おべんとうばこ

6月17日金曜日

ベルトコンベア

はくい 50人

青コース

さん

しんごう

③農業用水

さん

大きいかいだん

ポンプ

たかいところからはたけがみえたよ。

はれ

6月27日

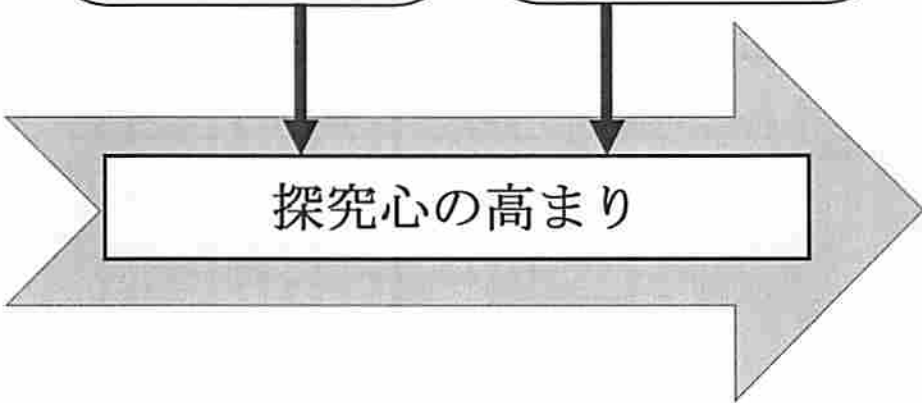
ピンクコース



新たな疑問・新しい発見を求めてさらなる探検へ

周りは畑が多いね。  
畑の向こうには何があるのかな。  
向こうには南中があるよ。ぼくは、ちかくで馬を見たよ。行ってみたい。

屋上からわたしの家が見える。近くに工場があって、コーヒーのいいにおいがする所だよ。行ってみたい。



わたしたちの町 はっけん ① (6月)

わたしたちの町 はっけん ② (9月)



## 1 単元名 わたしの町 はっけん② (10月)

## 2 単元について

## (1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領、生活科の内容を受けて構成した。

- (3) 地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。
- (4) 公共物や公共施設を利用する活動を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりすることができ、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれらを支えている人々がいることなどが分かるとともに、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用しようとする。

本単元は、1学期の「わたしの町はっけん①」とつながっている。「わたしの町 はっけん①」では、学校からの通学路を3方向に分け、全ての方向をクラス全員で探検した。本単元では、更にもっと調べてみたいことを追求していく。この活動を通して、子供たちは地域の人々に支えられて生活していることに気付き、地域の人々への愛着を深めていくことをねらいとしている。

まず初めに、探検の計画を立てる。次に、計画に沿って、グループごとに探検する。

「わたしの町はっけん①」では、教員と一緒に見学したり質問したりしたが、本単元では、自分たちだけで行う。そのため、詳細に計画を立てる必要がある。最後に自分たちの探検についてまとめる。発見で気付いたことを町の宝として3年生に発表する。探検することで、地域に親しみや愛着をもつことができる。

そして、本単元は、第3学年の社会科の「わたしたちの八街市」につながり、学区から八街市へと学習内容は広がる。

## (2) 児童の実態

令和4年7月20日調査(男子10人、女子6人)

## ◎生活科のアンケート

調査問題	調査結果(人)			
	好き	どちらかといえ ば好き	どちらかといえ ば好きでない	好きではない
1 生活科の学習の時間は好きですか。その理由も答えましょう。	12	3	1	0
	○楽しいから(7) ○町探検で見学することができるから(6) ○花や野菜を育てるのが好きだから(6) ●虫が嫌いだから(1)			
2 どんな学習が好きですか。	・発表すること(5) ・友達の考えを聞くこと(4) ・植物を育てたり観察したりすること(11) ・動物や虫を育てたり観察したりすること(8) ・分からないことを本でしらべること(4) ・インタビューすること(4)			
3 振り返りではどんなことを書いていますか。	・分かったことを書く(11) ・分からなかったことや不思議に思ったことを書く。(5) ・次に勉強したいこと(やってみたいこと)を書く。(4)			

4 通学路は何コースですか。	・赤コース (7)・ピンクコース (6)・青コース (3)
5 通学路にはどんな建物がありますか。	・家 (11)・コンビニエンスストア (1)
6 通学路にはどんな人がいましたか。	・犬を散歩する人 (4) ・見守りたいの人 (4) ・畑で働く人 (2) ・先生 (2) ・近所の人 (1) ・散歩をする人 (1)
7 通学路ではどんな草花を見ましたか。	・タンポポ (5) ・スミレ (2)・ 白い花 (1) ・タケノコ (1) ・ニンジン (1)
8 通学路にはどんな生き物がいましたか。	・モンシロチョウ (4) ・ダンゴムシ (4) ・アリ (4) ・テントウムシ (3) ・カラス (3) ・スズメ (3) ・イヌ (3) ・ネコ (1) ・ハチ (1) ・モンキチョウ (1)・ゾウムシ (1)・ジョロウグモ (1)
9 通学路ではどんな標識・看板がありましたか。	・止まれ (6)・信号機 (2)・バス停 (2)・横断歩道 (1) ・道路上にある「通学路」の字 (1)・工事中 (1) ・ゴミ捨て場 (1)
10 通学路で調べたいことは何ですか。	・建物 (11)・草花や作物 (6)・生き物 (4)人 (2)
11 町たんけん (6月) は、楽しかったですか。	・はい (16)・いいえ (0)
12 それは、どんなことですか。	・農業用水の土地改良区 (12) ・虫や草花 (8) ・クレエの工場 (3) ・丸井観光 (1)
13 働く人は、どんな気持ちで働いていますか。	・働く人は、楽しい気持ちで働いている。 (9) ・丸井観光で働く人は、お客さんに来て欲しいと思っている。 (5) ・丸井観光で働く人は、お客さんの笑顔が見たいと思っている。 (3) ・工場で働く人は、自分たちのつくった物を使って欲しいと思っている。 (3) ・農業用水で働く人は、自分たちの水を全部の畑に届けたいと思っている。 (2) ・農業用水で働く人は、畑を元気にしたいと思っている。 (1) ・農業用水で働く人は、たくさんの畑に水をあげて喜ばせたいと思っている。 (1)
14 つぎのたんけんでは、どこに行きたいですか。そのわけも書きましょう。	・八街神社 (6) おまいりをしたいから。初めてだから。 ・グリーンサービス (5) コーヒー豆をどうやって作っているか見たいから。作り方を知りたいから。どんな工場か見たいから。 ・馬の牧場 (5) 馬がすきだから。馬を見たいから。 ・落花生研究室 (4) どうやって育てているか知りたいから。 ・ランドローム (2) 店の中を見たいから。 ・タイヨウ (1) 店の中を見たいから。 ・土地改良区 (3) またタンクに上りたいから。

◎児童用パソコンに関するアンケート

調査問題	調査結果 (人)			
	好き	どちらかとい えば好き	どちらかといえ ば好きでない	好きではない
1 Chromebook を使った学習は好きですか。その理由も答えましょう。	13	3	0	0
	○楽しいから (7) ○色々なことを学ぶことができるから (3) ○写真や動画を撮ることができるから (3) ○リモートで学習することができるから (1)			
2 どんな学習が好きですか。(選択肢複数回答)	・発表すること (11) ・友達の考えを聞くこと (8) ・自分が知りたいことを見つけること (7) ・インターネットで調べること (10) ・友達と協力して学習すること (8)			
3 あなたが Chromebook でできることはどんなことですか。(選択肢複数回答)	・写真が撮れる (15) ・写真に説明を加えられる (12) ・音声入力ができる (14) ・ローマ字入力ができる (0) ・スライド (0) ・10本の指を使ってローマ字入力ができる (タイピング) (0)			
4 Chromebook 中の機能を使って、考えや求め方を友達に説明できますか。	できる		できない	
	4		12	
5 考えや求め方を友達に説明(発表)するとき、どのような機能を使えば伝わりやすくなると思いますか。	・Jamboard (10) ・カメラ (4)			

(3) 指導観

以上の実態調査から、生活科の学習の意欲の高さが分かる。また、笹引小学校の周りは畑に囲まれていて、自然が豊かである。そのため、植物や生き物を育てたり観察したりすることが好きな児童が多い。前回の「わたしの町 はっけん①」では、ほとんどの児童が、探検することを「楽しかった。」と答えている。学校から東西南の3方向に3日間探検に出かけ、3つの事業所を訪問した。探検の途中、何度も止まっては、気付いたことを口々に言いながら Chromebook (児童用パソコン) で写真を撮った。この探検で、子供たちは、自然に関わること、工場の様子やそこで働く人々について様々なことに気付いてきた。また、自分たちの安全を守ってくれている見守り隊の方々についても深く知ることができた。そこで、本単元では、更にもっと調べてみたいことをあげ、町探検に出かける。学校周辺の様子に少し詳しくなっているため、行きたい方面ごとにグループを作り、探検の計画を立てさせたい。計画を立てるにあたっては、安全面に十分に注意し、けがの無いように活動させたい。学区の絵地図を使って、歩く道を矢印で書き込みながら、実際の距離と歩く時間も考慮し、探検のコースを決めさせたい。探検の記録には Chromebook (児童用パソコン) を活用し、写真やインタビューの動画を撮り、まとめと発表に活用させていきたい。1学期から ICT の活用を積極的に行っているため、子供たちは、写真を撮ることに慣れ親しんできているが、インタビュー動画をとることは初めてなので、撮影の仕方を練習させる。探検にあたっては、クラスの児童が図案を作成したバッチを全員が着け、児童が作詞作曲した「探検隊の歌」を、元気に歌って意欲を高めていきたい。

#### (4) 仮説との関わり

##### <仮説1>

地域人材を活用し、交流の場における体験・活動を工夫すれば、探求的学習の意欲が高まっていくだろう。

##### ア 地域人材の活用

- ・地域の人々の思いを知ることができるように、子供たちが地域の事業所を訪問し、インタビューをさせる。

##### イ 交流の場の工夫

- ・地域にはたくさんの事業所があるが、これまでにあまり交流してこなかった。1件ずつ訪問して、見学が可能かを伺い、協力の依頼をし、子供たちが働く人々と交流することができるようにする。

##### <仮説2>

ICT 機器を効果的に活用して、学習のまとめ方や伝え方を工夫すれば、探求的学習が深まっていくだろう。

##### ウ 表現活動の工夫

- ・調べたことや聞いてきたことを友達に伝えるために、クロームブック（児童用パソコン）のジャムボード（ICT アプリ）に、写真や気付きを分かりやすく表現させる。
- ・クロームブック（児童用パソコン）のジャムボード（ICT アプリ）に貼り付けられた絵地図に気付いたことを表現させる。



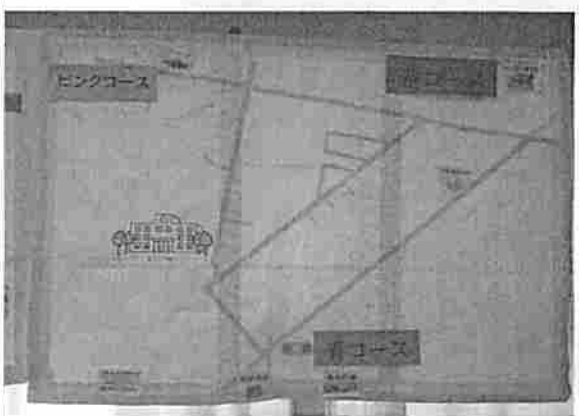
##### オ 学習過程における ICT 活用

- ・自分の考えを形成する場面において、ICT 機器を活用させる。発見したことを写真に撮り、そこに気付いたことを文で表現させる。
- ・考えたことを表現・共有する過程において ICT 機器を活用させる。グループごとに電子黒板に写して見ることで、他の児童の考えや発見したことを共有させる。
- ・毎時間、情意面の振り返りは、「みなみの学びモデル」の3観点をクロームブック（児童用パソコン）のフォーム（ICT アプリ）を使って行う。振り返りを行うことで、次時への意欲につなげる。

#### 3 単元の目標

- ・町で働いている人は、いろいろな工夫をしていることに気付くことができる。  
(知識及び技能の基礎)
- ・町を探検して発見したことを、伝え合うことのよさや楽しさに気付くことができる。  
(知識及び技能の基礎)
- ・発見したことを一人一人て絵や写真や文で工夫して表現することができる。  
(思考力、判断力、表現力等の基礎)
- ・発見したことが相手に伝わるように、内容や方法をグループで工夫することができる。  
(思考力、判断力、表現力等の基礎)
- ・交通安全に気を付けて探検し、施設では礼儀正しくインタビューをしようとする。  
(学びに向かう力、人間性等)
- ・町の場所や人々に親しみや愛着をもち、意欲的に探検しようとする。  
(学びに向かう力、人間性等)

4 指導と評価の計画（32時間扱い）

時配	学習内容と学習活動	評価規準（評価の観点）【評価方法】
10	<p>○探検の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の町探検を振り返る。</li> <li>・更に探検したい場所、会いたい人を出し合う。</li> <li>・探検したい目的地別にグループを編成する。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・探検したい場所、インタビューしたい人を決める。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・探検に行く道順を地図に書き込む。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・探検隊の誓いの言葉を確認する。 (交通安全、右側を1列で歩く。)</li> <li>・探検隊の7つ道具を確認する。 (通学帽子、水筒、児童用パソコン)</li> </ul>	<p>・グループの友達の意見を尊重しながら、探検の計画を立てようとしている。 (思考・判断・表現) 【発言】</p> <p>話し合いの結果、3つのコースに分かれることとなった。 それぞれ、通学路の色別（赤、青、ピンク）のコースを編成した。 ＜仮説1＞</p> <p>探検したい場所は1グループにつき、3か所あったが、日程の都合で、2事業所の探検となった。 ＜仮説1＞</p> <p>通学路の地図を用意し、歩く道を確認した。歩道はあるか、道は安全か、距離はどのくらいか、を調べた。</p>

10 クラス全員での探検

○グループごとに探検に出かける。気付いたことをクロームブック（児童用パソコン）で写真に撮ったり、インタビューを録画したりする。

- ・クラス全員で探検する。  
視光農園



・交通安全に気を付けて探検し、施設では礼儀正しくインタビューをしようとしている。

（主体的に学習に取り組む態度）

【行動】

・町で働いている人は、いろいろな工夫をしていることに気付いている。

（知識・技能）

【発言】

・町の場所や人々に親しみや愛着をもち、意欲的に探検しようとしている。

（主体的に学習に取り組む態度）

【行動】

学校のすぐとなりに  
こんなおいしいブルーベリーをつくっているところがあるなんて知らなかったよ。

<仮説1>

このブルーベリーを育てるために、ソーラーパネルの電気を使っているんだよ。

<仮説1>



ソーラーパネルを使っているなんて知らなかったよ。

<仮説1>

赤コースの

- ・グループごとに探検する。  
（赤コース）………笹引小から東方面へ  
落花生研究室 ➡ 八街神社

学校でぼくたちは、  
トウモロコシ  
ミニトマト  
ナス  
ピーマン  
を育てているよ。



みなさんは、学校で何を育てている？

野菜の種をまいたよね。ここは、畑にまく種の種をつくっているよ。

<仮説1>

探  
検

落花生をひっくりかえしているのはなぜですか。  
ポッチにするのはなぜですか。



ここでは、収穫した落花生を乾燥させているよ。ポッチにすると中で落花生が乾燥しやすいのだよ。  
<仮説1>

インタビューさせてください。神社では、どんな仕事をするのですか。



ここは社務所と言って、お参りに来た人にお札やお守りを売っています。八街の人々の幸せを祈っています。  
<仮説1>

(ピンクコース) …笹引小から西方面へ  
コーヒー豆焙煎工場  
➡コンビニエンスストア



右側を1列で歩きました。交通安全第1です。  
<仮説1>

ピ  
ン  
ク  
コ  
ー  
ス  
の

食べるものを作る工場だから、髪の毛が入らないように気を付けているんだな。衛生面に気を使ってすごい。



見学前に白衣と帽子を付けてください。  
<仮説1>



# 探 検

食べるものを作る工場だから衛生に気を付けているんだな。手をきれいに洗おう。

<仮説1>



ここにある袋にコーヒー豆が入っているんだな。すごい量だ。たくさん積んである。

<仮説1>

豆の袋をクロームブックに写真で取ろう。

<仮説2>





(青コース) ……笹引小から南方面へ  
野菜袋詰め工場 → 馬の牧場

# 青 コ ー ス の

馬に干し草をあげたよ。すごいきおいでたべていたよ。馬の世話は大変だけど、馬がかわいいから大変だなんておもわないんだね。

<仮説1>



<p>探 検</p>	 <p>馬に触ったよ。かわいいね。</p>	<p>こわくないからさわってごらん。</p> <p>&lt;仮説1&gt;</p>
<p>2</p>	<p>○一人一人探検したことを写真と文で表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どこで、何を発見したのか。</li> <li>・インタビューで知ったことは何か。</li> </ul>	<p>・発見したことを一人一人て絵や写真や文で工夫して表現している。</p> <p>(思考・判断・表現)</p> <p>【Jamboard】</p>
<p>1 本時 (23/32)</p>	<p>○探検で気付いたことをグループ内で1つのJamboardに表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・探検で気付いたことを写真と付箋で表す。</li> </ul> <p>○グループごとに気付いたことを中間発表し、より良い発表内容になるように互いにアドバイスをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1～2グループ</li> </ul>	<p>・発見したことが相手に伝わるように、内容や方法をグループで工夫している。</p> <p>(思考・判断・表現)</p> <p>【つぶやき・Jamboard】</p> <p>・町を探検して発見したことを、伝え合うことよさや楽しさに気付いている。</p> <p>(知識・技能)</p> <p>【発言】</p>
<p>1</p>	<p>○グループごとに気付いたことを中間発表し、互いにより良い発表内容になるようにアドバイスをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1～2グループ</li> </ul>	<p>・町を探検して発見したことを、伝え合うことよさや楽しさに気付いている。</p> <p>(知識・技能)</p> <p>【発言】</p>
<p>4</p>	<p>○友達からのアドバイスを取り入れ、より良いグループの発表内容にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インタビューの内容の確認</li> <li>・気付いたことを書いた付箋の内容の変更</li> </ul>	<p>・発見したことが相手に伝わるように、内容や方法をグループで工夫している。</p> <p>(思考・判断・表現)</p> <p>【発言・Jamboard】</p>
<p>2</p>	<p>○町たんけんの発表会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生に発表する。</li> <li>・意見や感想を聞く。</li> <li>・質問にはできる範囲で答え、答えられなかったことは、再度確かめる。</li> </ul> <p>ここでは、どんなインタビューをしたのですか。(3年生)</p> <p>もう少し気付いたことを書くといいよ。(3年生)</p>	<p>・町を探検して発見したことを、伝え合うことよさや楽しさに気付いている。</p> <p>(知識・技能)</p> <p>【発言】</p> 
<p>2</p>	<p>○探検した場所の方にお礼の手紙を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お礼の言葉と共に気付いたことや感想を書く</li> </ul>	


5 本時の指導(23/32)

(1) 評価規準


- ・発見したことが相手に伝わるように、内容や方法をグループで工夫している。  
(思考・判断・表現) 【つぶやき・児童用パソコン】
- ・町を探検して発見したことを、伝え合うことよさや楽しさに気付いている。  
(知識・技能) 【発言】

(2) 展開

時配	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価【評価方法】	資料
5	<p>【見いだす】</p> <p>1 本時の学習内容を知り、めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>たんけんではっけんしたことを つたえあおう。</p> </div>	<p>・地図を元に、前時までの学習を想起させる。</p>	<p>前時までの学習の分かる 掲示物 電子黒板</p>
15	<p>【グループで取り組む】</p> <p>2 グループで発表内容を確認し、気付いたことを Jamboard (児童用パソコン) に表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの発見の中から、伝えたいものを選び、写真と付箋で表す。</li> <li>・見学場所の様子</li> <li>・働く人の様子や気持ち</li> </ul>	<p>・見学場所やそこで働く人の様子などを振り返り、児童の心に強く残ったことを、選び表現させる。</p> <p>・発見したことは、Chromebook 児童用パソコン) の Jamboard (ICTアプリ) の付箋に書いて貼るようにさせる。</p> <p>・グループで意見が分かれて進まない時は、一緒に考え、支援する。</p> <p>○発見したことが相手に伝わるように、内容や方法をグループで工夫している。 (思考・判断・表現) 【つぶやき・Jamboard】</p>	<p>Chromebook</p>



わたしたち赤コースは、落花生研究所と八街神社だよ。気付いたことを付箋に書こう。  
<仮説2>



わたしたち青コースは、野菜袋詰め工場と馬の牧場に行ったよ。馬に干し草をあげてうれしかったね。

みんなで協力して、気付いたことを書き込もう。  
<仮説2>

15 【広げ深める】

3 グループで Jamboard (児童用パソコン) に表したものを発表する。  
 (赤コース) 笹引小より東方面  
 落花生研究室  
 八街神社  
 (ピンクコース) 笹引小より西方面  
 コーヒー豆焙煎工場  
 コンビニエンスストア  
 (青コース) 笹引小から南方面  
 野菜袋詰め工場  
 馬の牧場  
 ・発表内容で気付いたことやアドバイスを発表する。

- ・中間発表なので、完成していなくてもよいので、途中の内容でも良いことを伝える。
  - ・本時は1～2グループ発表させる。
  - ・「発表の仕方」を参考に、探検で発見したこと、インタビューをして知ったことを発表させる。
  - ・「発表の聞き方」を参考に、他のグループの発表で、良かった点を発表したり新たに浮かんだ疑問を質問させたりする。
  - ・質問にすぐ答えられない時は、グループで相談しても良いことを伝える。
  - ・一人一人の気づきを全員で共有できるように、発表のタイミングをみて助言していく。
- 町を探検して発見したことを、伝え合うことよきや楽しさに気付いている。

(知識・技能) 【発言】

「発表の仕方・聞き方」の掲示物」

Chromebook  
 (児童用パソコン)  
 電子黒板

白衣をきて、頭にぼうしをつけて、衛生面に気を付けていた。

<仮説1>



工場に入る前、手をあらったり、消毒をしたりしてせいで、工場に入りました。

<仮説1>



はたらいっている人は、たのしいときもつかれるときもありますとおっしゃっていました。

<仮説1>

おきやくさんがおいしいといってくれるのがうれしいそうです。

<仮説1>



動画をとらせてもらいました。  
動画をごらんください。<仮説2>

【まとめあげる】

10 4 本時の振り返りをするとともに、次時の活動について知る。

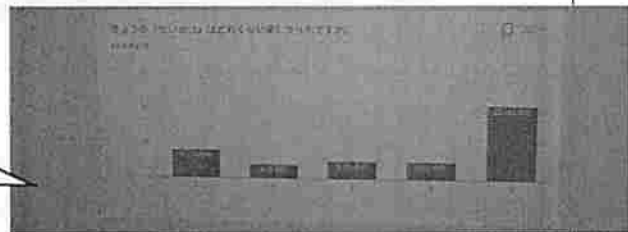
・Chromebook（児童用パソコン）のフォーム（ICTアプリ）を使って、本時の振り返りをさせる。



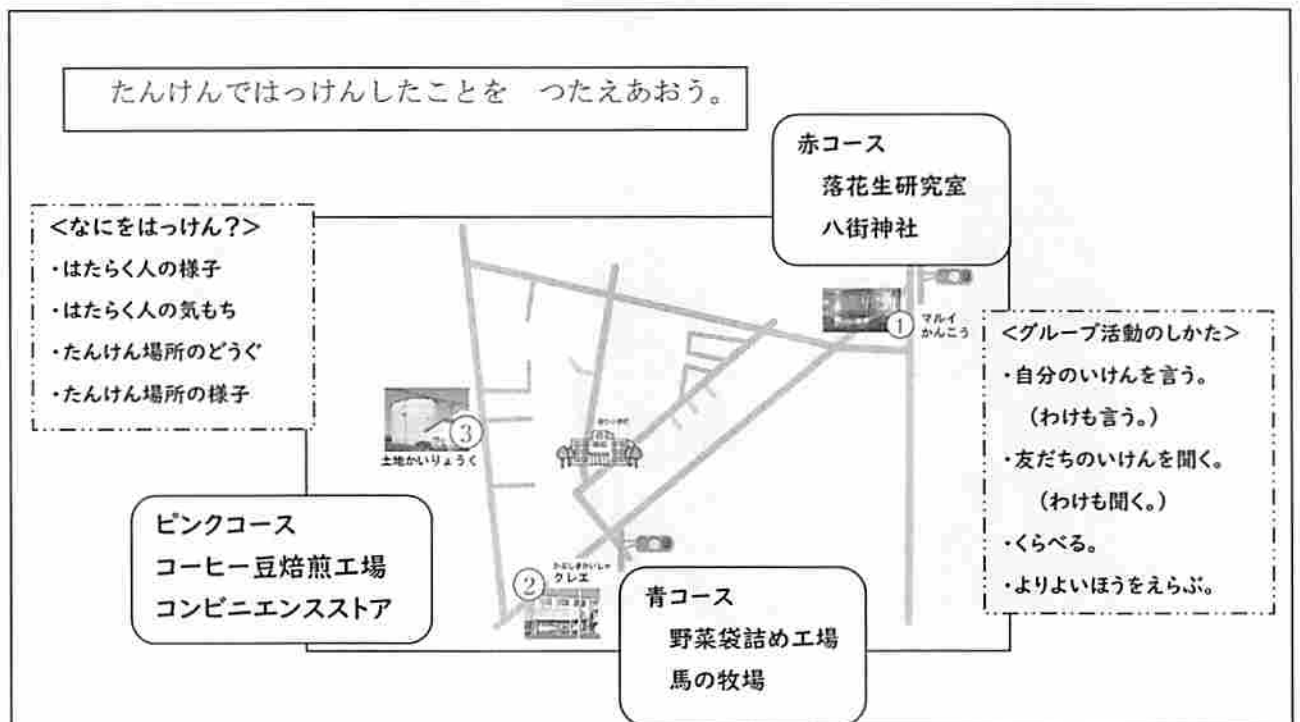
本時のふりかりは、  
グラフになっていて  
わかりやすいね。

<仮説2>

本時の学習の振り返りを、  
その場で見る事が  
できた。



(3) 板書計画



「町はっけん」はっけんカード ① まい目

10月 14日(水) 編 [ ]

どこで コンビニエンスストア

こんなはっけんをしたよ!

絵 (しゃしん)



ファミリーマートに行ったよ。おみせの人にインタビューをしました。おみせの人がとてもやさしくインタビューのことをゆつてくれたので3人でやるのも楽しかったです。おまいたいきました。インタビューもよくできました。すばいです。

「町はっけん」はっけんカード ② まい目

7月 28日(休) 編 [ ]

どこで シンガ花生石開窓一室

こんなはっけんをしたよ!

絵 (しゃしん)



シンガ花生石研究室に行ったよ。そしてきがいがいっぱいあるところに入。たよ。すごくいいいきかいがあってすごくきになったのグッシンガ花生をかおが枝かいてす。そのときと見てて知いませ。その時、おみせの人にインタビューもよくできました。すばいです。

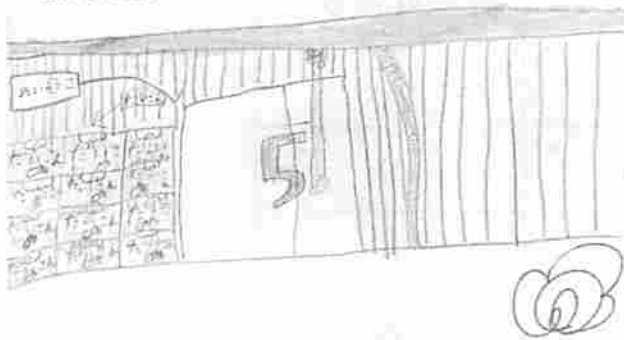
「町はっけん」はっけんカード ① まい目

9月 28日(水) 編 [ ]

どこで 野菜袋詰め工場

こんなはっけんをしたよ!

絵 (しゃしん)



根菜店でだいこんのれいそうこを見せてくれました。おんどは1とていっていました。さむかったです。またいきたいです。

だいこんのころは1℃でしね。さむいね。

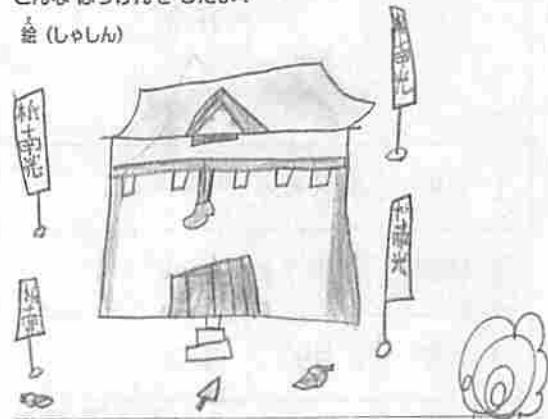
「町はっけん」はっけんカード ② まい目

10月 6日(木) 編 [ ]

どこで やちまたじんしゃ

こんなはっけんをしたよ!

絵 (しゃしん)



やちまたじんしゃにどんぐりがいっぱいあったよ。やちまたじんしゃの人に何でこんないっぱいあるんですか。ときいたらかみさまのおまもいみたいなのだよ。と言ってくれました。その時かみ。しなめです。

## 1 生活科アンケートによる児童の変容（調査人数16名）

※年間を通した生活科学習について、同じアンケートで調査項目の一部である。

(1) 生活科の学習は好きですか。

\	好き	どちらかといえ ば好き	どちらかといえ ば好きでない	好きでは ない
1学期（6月）	12	2	1	1
2学期（10月）	12	3	1	0
3学期（2月）	13	3	0	0

(考察) 生活科学習についての意識調査では、児童自身が目的や必要性を意識して取り組む体験的学習の積み重ねることで、生活科学習を苦手としていた児童が「どちらかといえれば好き」と回答して、積極的に学習に取り組む姿勢が見られてきた。1学期の町探検では、クラス全員が一緒に探検に出かけたが、2学期には、1学期の探検で得た知識をもとに自分たちで計画したことで、児童の興味関心が高まった。

(2) クロームブックを使った生活科学習は好きですか。

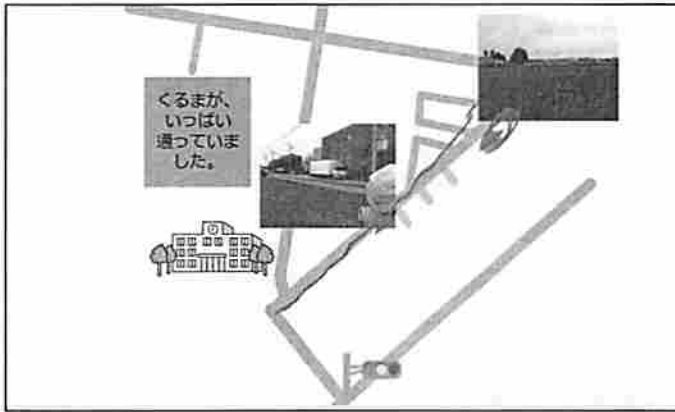
\	好き	どちらかといえ ば好き	どちらかとい えば好きでな い	好きでは ない
1学期（6月）	9	6	0	1
2学期（10月）	13	3	0	0
3学期（2月）	13	3	0	0

(考察) クロームブック（児童用PC）を活用した生活科学習では、1学期には「どちらかといえれば好き」6名及び「好きではない」1名の児童自身が、2学期になると、「好き」と回答している。生活科学習を苦手とする児童もクロームブック（児童用PC）の操作に慣れるとともに、機器のよさや便利さにも気付きながら十分活用できるようになってきたことが、児童の意欲の高まりにもつながり、より積極的に組むようになってきたと考える。

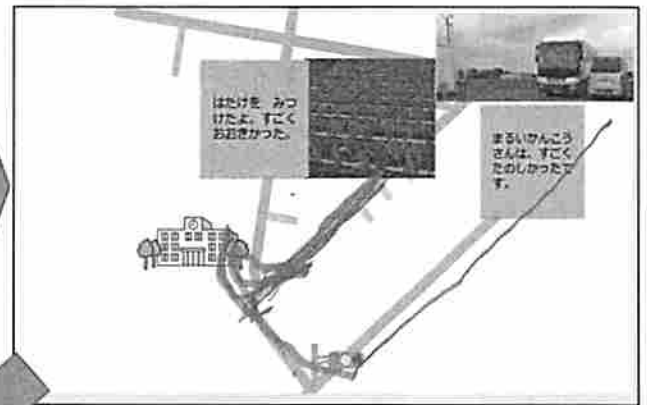
## 2 クロームブック（児童用PC）活用による児童の変容：例①

Sさん

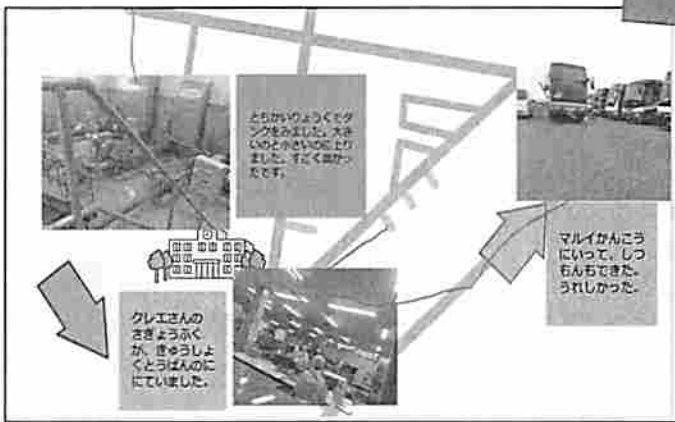
### ◎6月：町探検①



### ◎6月：町探検②



### ◎6月：町探検③



### 《考察》

- ・6月の町探検①②では、通学路での気付きを少し表現しているが、工場やそこで働いている人の様子までは、表現できていない。
- ・10月の町探検④では、地域の施設等での会話や観察を通して、クロームブック（児童用PC）に気付いたことを自分の言葉で表現できてきている。機器の使い方にも慣れてきた。

### ◎10月：町探検④

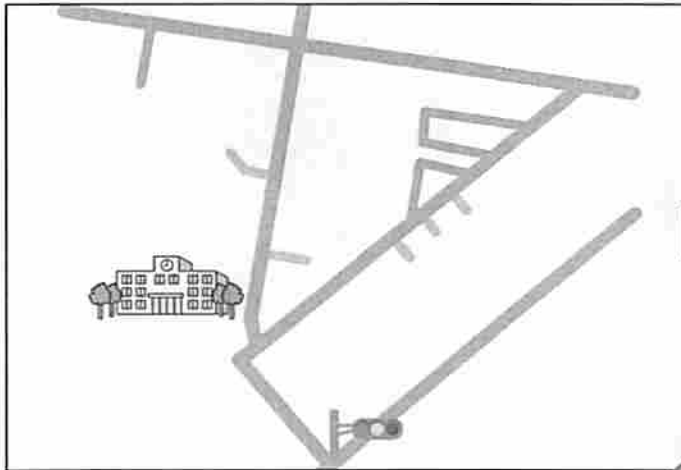




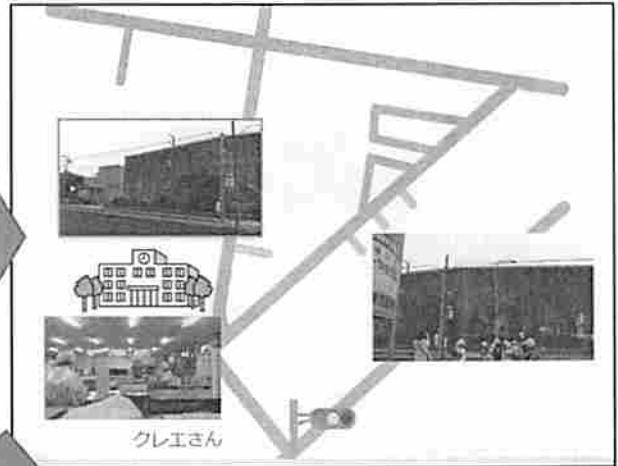
2 クロームブック（児童用 PC）活用による児童の変容：例②

I さん

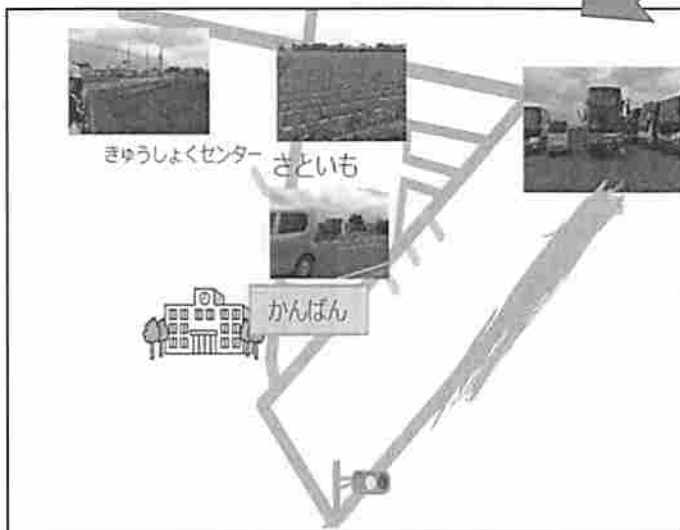
◎ 6 月：町探検①



◎ 6 月：町探検②



◎ 6 月：町探検③



《考察》

- ・ 6月の町探検①②③では、探検の様子を写真でのみ表しており、地域の施設や働いている人の様子までは、表現できていない。
- ・ 10月の町探検④では、地域の施設等で直接体験したことや地域の方々とふれあいを通して、感じたことや考えたことを、クロームブックに（児童用 PC）自分の言葉で表現できるようになってきている。これらのことは、グループ学習でも共有されている。施設の安全・安心が表現されている。

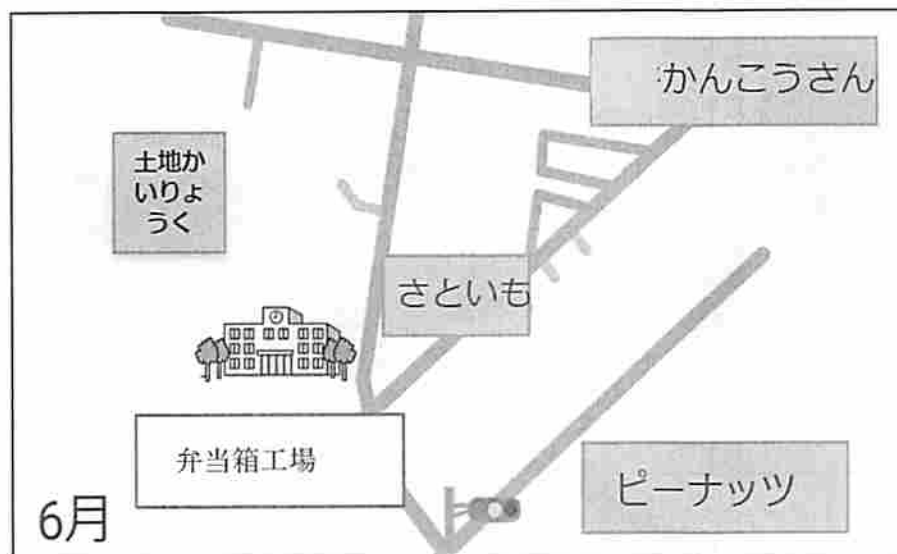
◎ 10 月：町探検④



2 クロームブック（児童用PC）活用による児童の変容：例③

Rさん

◎6月：町探検①



《考察》

- ・6月の町探検①②では、「Sさん」「Iさん」同様に地域の施設や畑等の作物には気付いているが、働いている人の様子までは表現できていない。
- ・10月の町探検③では、地域の施設等で直接体験したこと、地域の方々とのふれあいを通じて感じたことや考えたことを、クロームブック（児童用PC）に自分の言葉で表現できるようになってきている。これらのことは、グループ学習でも共有されている。さらに、町探検で歩いた道も記録に残している。インタビューを通して働く人の思いや願いを知り、表現している。

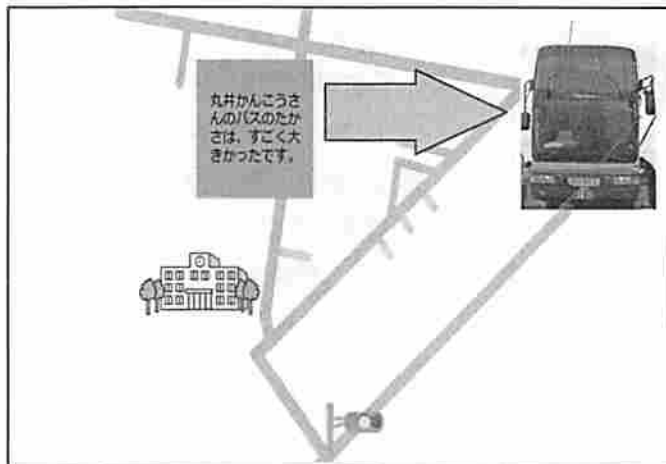
◎6月：町探検②



◎10月：町探検③



◎6月：町探検①



◎6月：町探検②



◎10月：町探検③



《考察》

- ・6月の町探検①②では、通学路での気付きを少し表現しているが、バス会社やそこで働いている人の様子までは、表現できていない。
- ・10月の町探検④では、地域の施設等での会話や観察を通して、クロームブック（児童用PC）に気付いたことを自分の言葉で表現することができてきた。探検で通った道を線で表すことができるようになった。

## 成果と課題

### 《仮説1》

地域人材を活用し、交流の場における体験・活動を工夫すれば、探究的学習の意欲が高まっていくだろう。

- 今まであまり知らなかった地域にある施設や企業を開発して地域と子どもを繋げることができた。
- 地域人材を活用していろいろな施設に見学に行き直接体験をしたことで、児童が興味関心をもって主体的に活動することができた。コロナ禍である中でも、とても貴重な体験活動となった。
- 町探検の経験から、地域の人々との触れ合いを繰り返して、さらに具体的にもっと知りたいと考え、積極的にインタビューをしたり、友達の発言を聞いたりして探究的学習を深めた。
- 町探検1回目で体験したことから、さらに調べてみたいことを考え、2回目の探検へとつなげることができた。1回目より2回目というように、探究的学習の意欲が高まってきた。さらに、3年生では、地域から八街市全域と範囲を広げ、探検してみたいという意欲が高まっている。
- 地域の人々との交流が深まり、地域の人々と子供たちが親しくなり、学習が終わった後も交流が続いている。地域の人々に愛着が持てるようになってきた。
- 地域の人々から笹引小学校の子供たちに愛着をもっていただくことができた。
- 単学級ということもあり、地域の開発を担任一人で行った。一人で行うのはとても時間と手間がかかり大変だった。地域開発においては、1学期の初めから下校指導に合わせて、通学路の様子を観察したり、途中にある施設をメモしたりして、探検場所の開発に努めた。
- 施設や企業それぞれ、見学可能な日や時間帯があり、日程調整をするのが難しかった。
- 今回町探検で見学させていただいた方々に、写真とお礼の手紙を届けたが、実際に学校に招待してお礼の会を開き交流することで新たな発見が見られると思ったが、今回は、コロナ禍ということで実施できなかった。

《仮説 2》

ICT 機器を効果的に活用して、学習のまとめ方や伝え方を工夫すれば、探究的学習が深まっていくだろう。

- ICT機器（クロームブック）を活用して、見学施設の写真やインタビューの動画を撮り、発表資料作成のときに活用できた。施設の方の話だけでなく、写真や動画があることによって視覚的にもわかりやすかった。また、町探検を重ねるごとに児童が情報の収集や選択・図や表にまとめる力がついてきて、授業内容を深く理解することができた。
- 協働学習において、発表資料を作成するときにスライドやジャムボード（ICTアプリ）を活用したことで、視覚的に共有することができた。また、追体験をすることができ、自分が見学に行っていない施設のこともしっかり知ることができた。加除修正が容易にでき、時間の短縮になりとてもよかった。
- 見学して気付いたことをスライドやジャムボード（ICTアプリ）にまとめておくことによって、時間がたった後でも写真や動画を見返し、振り返ることができてよかった。
- 探検にクロームブック（児童用PC）をもっていくことは、帰校後の学習に役立つが、児童には重くて移動が大変そうであった。クロームブック（児童用PC）を首から掛けられるような手立てがあると更に探検しやすくなると考えられる。

地域人材（事業所）と生活科（私たちのまち発見）



## 《コーヒー豆焙煎工場》

初めて依頼した時は、そっけない態度であった。翌日に電話がかかってきて、「今回のことを本社で話をしたら、社長がぜひ自分で子供たちに説明をしたい、と言っています。今、会社でもSDGsに取り組もうということになっていて、ちょうど今回の子供たちの見学の話をいただいて、それを使いたいと考えたのです。」と言われた。私が「実は、ここの工場のすぐ近くに住んでいる家庭があり、保護者の方が、『近所にコーヒー豆を焙煎している工場があって、いつもすごくいいにおいがするのです。一般には売ってないのでもし見学できたらいいですね。』と言われていたのです。」と伝えた。すると工場の方が喜んでくださり、「今までは、カフェなどの店にだけ販売していたのですが、これを機会に一般の方にも販売しようかと思っています。」と言われた。

## 《ブルーベリー観光農園》

「これまで、遠方に広報を流していたのですが、遠方の方は1回しか来ないのです。2回3回と来るのは、やはり近くの八街の人なのです。そこで、今まで遠くにばかりPRしていたのを、近くの人にたくさんPRしたいと思うようになったのです。そう思っていた時、この話をいただいたので、小学生の見学を了承したのです。子供たちが家に帰って、ここにまた来てくれるよう話をしてくれると嬉しいです。」と言ってくれました。

## 《農業用水》

「ここは、農業用水を販売している所ですが、畑をもっている人に広くPRしたいと思っていたので、この見学はちょうどよかったです。」と言ってくれました。見学の様子は会社の広報紙に載っている。

## 《笹引小》

今年度見学をすることができた事業所10か所全て、次年度も訪問を許可してくれた。これからの笹引小学校の生活科の町探検の役に立つかと思う。